

報道関係者各位

県民へのクマに対する注意喚起について

秋を迎え、行楽やキノコ採りなどで山に入る方も増えてますが、この時期はツキノワグマが冬眠に向け、餌を求めて活発に動き回るため、人とクマが出合う危険性が高くなります。

また、今年はクマの餌となるブナが凶作の見込みであることから、今後もクマの出没が多くなることが予想されます。

例年9月から11月に人身被害が非常に多く発生しており、過去には、キノコ採りや溪流釣りに出かけ、クマと遭遇し、大怪我を負う事故も発生しています。

人身被害の防止に向け、下記を参考に、県民への注意喚起に御協力をお願いいたします。

記

○ クマから見れば、森林は自分の領分。人は侵入者です。音の出る物で、クマに自分の存在を知らせましょう。

クマにとっては、人は侵入者だということを忘れずに、周囲に十分注意してください。

また、クマもエサに夢中になって、人の接近に気がつかない場合があります。山林に入る時は、ラジオやクマ避けの鈴、笛など、音の出る物で、自分の存在をクマに知らせましょう。

○ クマの出没情報があったところには近づかないでください。

県ホームページ「山形県クマに関する情報」－「クマ目撃マップ」に出没情報を掲載しています。（[山形クマ](#)で検索）その周辺に近づかないようお願いします。

○ 子連れのクマに注意してください。

子グマを見たら、近くに母グマがいると思ってください。大変危険ですので、周囲に注意しながら、できるだけ早く遠ざかりましょう。

○ 万一、クマに出会ったら、落ち着いてゆっくりとその場から離れてください。

（市販されているクマ撃退用スプレーの使用も有効です。ただし、使用するに当たっては注意事項をよくご確認ください。）

○ 餌となる取り残しの果実や家の周囲のハチの巣を撤去してください。

また、餌付けとなる食品や生ゴミを放置しないでください。

（参考）山形県内におけるツキノワグマによる人身被害一覧

令和元年度 4件
令和2年度 5件
令和3年度 0件（8月31日現在）

（担当）
環境エネルギー部みどり自然課
課長補佐（自然環境担当） 五十嵐

TEL：023-630-3042

〔報道監〕
環境エネルギー部次長 鎌水